

2018年度 苦情・事故状況

<苦情>

日時	内容	結果	検証及び課題
0件			

<事故>

日時	内容	結果	検証及び課題
4月	バギー内で場所の取り合いになり、他児が本児の口元を噛み、上唇から出血する。	上唇からの出血はすぐに止血するが、口元であった為、歯科を受診。視診・触診後、特に処置は行わず、経過観察となる。	バギーから順番に子どもたちを下ろしている状況だった為、場所の取り合いからのトラブルにおいて、保育者が注視できていなかった。状況をみながら常に目を向けておくようにする。又職員間で声を掛け合い、配置や環境等を再確認をし、意識を高めていく。
7月	這い這いの体位で保育室の入口扉のガラス部分から、廊下側を覗き込んでいた際に口元を打撲。歯のぐらつきはないが、上唇小帯からの出血を確認し、歯科を受診。	視診・触診後、特に処置は行わず、歯のぐらつきはなかったが、上唇小帯に傷ができていた。経過観察となる。	個々の体位を把握し、それに伴う危険面やリスクを常に意識しながら援助や見守りを行う事を徹底していく。又、体位や姿勢が常に変わりつつある様子を把握すると共に、職員間で子どもの位置や状態を声掛けし合い、職員の位置にも留意する。
7月	ずり這いの体勢で保育室内を移動していた際に、前方へ進もうとしたが手が身体の下へ入った為、前に手が出ず床で上唇内側を打撲し、出血。歯科を受診する。	視診・触診後、特に処置はなし。歯のぐらつきや上唇小帯に異常はなく、経過観察となる。	ずり這いから高這いへの移行途中で、手が出ない事もある為、注意しながら見守っていく。又、床に玩具等が散乱しないよう、環境整備を行っていく。